



2026年5月13日

各位

会社名 堺化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢倉敏行
(東証プライムコード4078)
問合せ先
役職・氏名 取締役経理部長 服部浩之
電話番号 072-223-4111

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期個別業績と前期実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------|--------|-------|-------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期(2025年3月期)実績(A) | 44,342 | 2,655 | 3,405 | 6,235 | 384.56 |
| 当期(2026年3月期)実績(B) | 41,633 | 2,811 | 3,947 | 798 | 51.15 |
| 増減額(B-A) | △2,708 | 155 | 541 | △5,437 | |
| 増減率(%) | △6.1 | 5.9 | 15.9 | △87.2 | |

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、顔料級酸化チタン事業の終了及び化粧品材料セグメントにおける中国経済の鈍化等の影響により、前期実績を下回る結果となりました。一方で、電子材料セグメント等が堅調に推移したことにより、営業利益、経常利益につきましては前期実績を上回る結果となりました。

また、化粧品材料セグメントの損益の悪化に伴い収益予測の見直しを行なった結果、化粧品材料製造設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額2,967百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。加えて、前期においては特別利益に抱合せ株式消滅差益2,371百万円を計上していたことから、当期純利益が大幅に減少いたしました。

以上